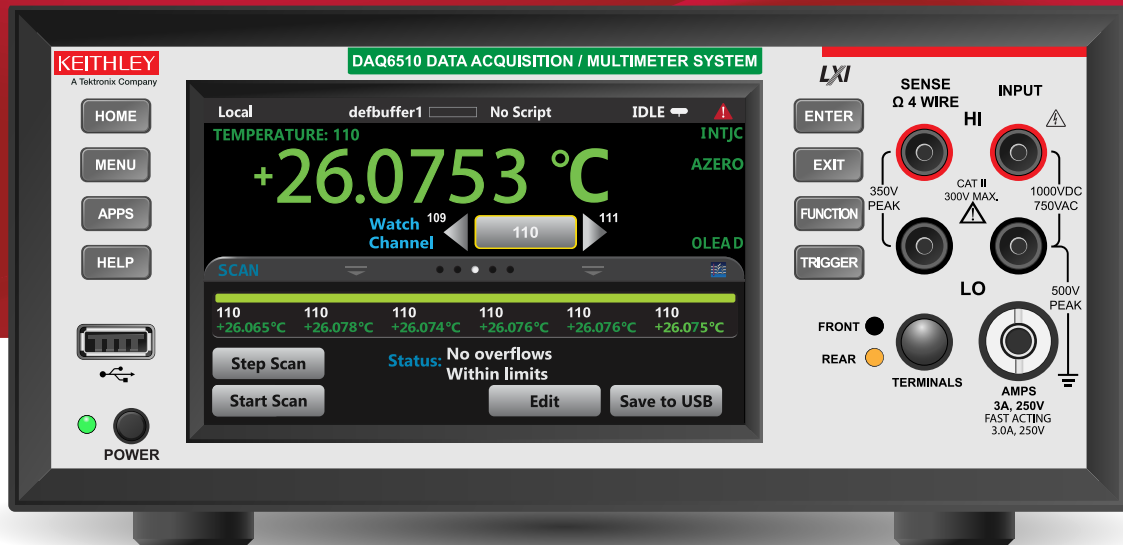


DAQ6510 型クイック・スタート・ガイド



安全対策

この製品および関連機器を使用するときには、以下の安全使用上の注意に従わなければなりません。一部の機器およびアクセサリは、通常危険性のない電圧で使用されますが、危険な状態が発生する状況があります。

本製品は、負傷の危険を避けるために必要な安全に関する注意事項を理解し、感電の危険を理解したユーザが使用することを意図しています。本製品を使用する前に、すべての設置、使用、およびメンテナンスに関する情報を注意深く読み、それらを順守するようにしてください。詳細な製品仕様については、ユーザ・マニュアルを参照してください。

この製品を指定以外の方法で使用した場合には、製品の保証による保護が制限される場合があります。

製品ユーザには、以下のタイプがあります。

責任組織：機器の使用およびメンテナンスに責任を負う個人またはグループで、機器がその仕様および使用制限の範囲内で使用されるようにするとともに、オペレータを適切に訓練する責任を負います。

オペレータ：製品をその意図する目的に使用します。電気についての安全手順および機器の適切な使用法について訓練を受ける必要があります。オペレータは感電および通電している危険な回路との接触から保護される必要があります。

メンテナンス担当者：製品が適切に動作するように、ライン電圧の設定や消耗部品の交換など、定期的な手順を実行します。メンテナンス手順については、ユーザ・マニュアルに記載されています。オペレータが実行できる手順は、その旨が明記されています。明記されていない場合は、それらの手順は保守担当者のみが行います。

保守担当者：通電している回路に対する作業について訓練を受け、安全な設置および製品の修理を行います。適切な訓練を受けた整備担当者のみが設置および整備手順を実行できます。

ケースレー製品は、過渡過電圧が小さい、計測、制御、データ入出力接続などの電気信号向けに設計されていますので、コンセントや過渡過電圧が大きな電源装置に直接接続することはありません。測定カテゴリ II (IEC 60664 に準拠) 接続では、当該地域の AC コンセントに接続した場合にしばしば生じる大きな過渡過電圧からの保護が要求されます。ケースレーの測定機器／装置の中には、コンセントに接続可能なものもあります。

このような機器や装置には、カテゴリ II またはそれ以上を示す記号が付いています。

仕様書や運用マニュアル、機器／装置のラベルでコンセントへの接続が明示的に許されている場合を除き、どの機器／装置もコンセントに直接に接続しないでください。

感電の危険があるときには、十分に注意して作業を行ってください。ケーブル コネクタ ジャックまたは試験具には、生命に危険が及ぶような電圧が生じている場合があります。米国規格協会 (ANSI) は、30VRMS、ピーク電圧 42.4V、または 60VDC の電圧があるときには感電の危険があると明記しています。不明な回路について測定するときには、危険な高電圧があることを想定しておくで安全性が高まります。

この製品のオペレータに対しては、常に感電に対する保護を行う必要があります。責任者は、ユーザがすべての接続点から保護されているか、または絶縁されていることを保証する必要があります。ときには、接続点の露出が避けられず、ユーザが接触する危険が避けられない場合があります。このような場合は、製品のユーザが自らを感電の危険から守るように、教育する必要があります。回路が 1,000V 以上で動作可能な場合は、回路の導体部を露出してはいけません。

制限されていない電源回路にスイッチング・カードを直接接続してはなりません。切換カードは、インピーダンスが制限されている電源での使用を意図したものです。切換カードは AC 主電源には絶対に直接接続しないでください。電源を切換カードに接続しているときには、保護デバイスを設置してカードへの故障電流および電圧を制限します。

機器を操作する前に、ライン コードが適切に接地された電源コンセントに接続されていることを確認します。使用前に、接続ケーブル、リード線およびジャンパの摩耗、亀裂または破損について検査してください。

ラックに取り付ける場合など、主電源コードへのアクセスが限られている場所に機器を設置するときには、別の主入力電源切断デバイスを機器の近くのオペレータの手が簡単に届く場所に用意する必要があります。

最大限の安全性を確保するために、試験中の回路に電源が入っているときには製品、試験ケーブル、またはその他の機器に触れないでください。ケーブルまたはジャンパの接続／取り外しやスイッチング・カードの取り付け／取り外しを行う前、あるいはジャンパの取り付けや取り外しなど内部で何らかの変更を行う前には、必ず試験システム全体から電源を切断し、すべてのキャパシタを放電してください。

試験中の回路の共通側または電源回路の接地線への電流の経路となる物体に触れないでください。測定する電圧に耐えられる乾燥した絶縁された足場の上で、必ず乾燥した手で測定を行ってください。

安全上、機器／装置およびアクセサリは、操作説明書に準じて使用してください。操作説明書に指定されていない方法で機器／装置およびアクセサリを使用すると、機器／装置の保証による保護が制限される場合があります。

機器およびアクセサリの最大信号レベルを超えないようにしてください。最大信号レベルは、仕様または使用情報に記載されているほか、機器／テスト・フィクスチャのパネルや切換カードにも表記されています。

製品にヒューズが使用されているときは、火災の危険を防止するために同じタイプおよび定格のものと交換してください。

シャーシ接続は測定回路のシールド接続だけで使用可能であり、保護のためのアース（安全接地）の接続として使用することはできません。

テスト・フィクスチャを使用している場合には、試験中のデバイスに電源が投入されている間はフタを閉じたままにしておきます。安全に運用するためには、フタのインターロックを使用する必要があります。

ネジのマークがある場合は、ユーザ・ドキュメントで推奨されている導線を使用して、保護のためのアース（安全接地）に接続してください。

機器上のという記号は、操作上の危険性を警告するものです。この記号が印刷されている部分を操作する場合は、必ずユーザ・マニュアルを参照してその指示に従ってください。

機器上のという記号は、感電の危険性を警告するものです。標準の安全使用上の注意に従って、人員がこれらの電源に触れるのを防止してください。

機器上にあるという記号は、その面が高温になる場合があることを示しています。火傷を防止するために、人員がこの面に触れないようにしてください。

という記号は、機器フレームへの接続端子を示しています。

製品上にこの記号がある場合には、表示ランプに水銀が使用されていることを示しています。ランプは、必ず連邦、州および地域の法律に従って適切に処分してください。

ユーザ・マニュアルにある**警告**の見出しは、ケガや死亡事故につながる可能性のある危険について説明しています。示されている手順を実行する前に、必ず関連する情報をよく読んでください。

ユーザ・マニュアルにある**注意**の見出しは、機器の損傷につながる可能性のある危険について説明しています。損傷によって保証が無効になる場合があります。

ユーザ・マニュアルで**注意**の見出しに記号が併記されている箇所は、中程度または軽度の怪我や、機器への損傷につながる可能性の危険について説明しています。示されている手順を実行する前に、必ず関連する情報をよく読んでください。機器への損傷は保証適用外になる場合があります。

機器およびアクセサリは、人体に接続してはなりません。

メンテナンスを行う前には、電源ケーブルとすべてのテスト・ケーブルを取り外してください。

感電および火災を防止するために、電源変換器、リード線、入力ジャックなどの主回路の交換コンポーネントはケースレーからご購入ください。定格とタイプが同じであれば、国の安全承認を受けた標準のヒューズを使用することができます。機器に付属する取り外し可能な電源ケーブルを交換する場合には、同じ定格の電源ケーブルのみを使用してください。安全性と関係のないそれ以外のコンポーネントは、元のコンポーネントと同一であれば他の供給元から購入することができます（製品の精度および機能を維持するためには、一部の部品はケースレーから購入するべきである点にご注意ください）。交換コンポーネントの適合性について不明な点がある場合には、ケースレーまでお問い合わせください。

製品に付属するドキュメント等で特に断りのない限り、ケースレーの機器は2,000メートル（6,562フィート）以下の標高、0°C～50°C（32°F～122°F）の温度範囲、汚染度が1または2の屋内環境での使用を想定して設計されています。

機器を清掃する場合は、純水に浸した布または水性の弱い洗剤を使用します。清掃するのは機器の外部のみにしてください。洗剤を機器に直接付着させたり、液体を機器の中に入れたり機器の上にこぼしたりしないでください。ケースまたはシャーシのない回路ボードで構成されている製品（たとえばコンピュータ取付用のデータ取得ボード）は、指示に従って使用している場合には清掃は必要ありません。ボードが汚れて動作に影響が出てきた場合には、ボードを工場に返送して適切な洗浄／整備を受けてください。

安全対策（2017年6月改訂版）

安全性

電力／環境仕様

屋内用途のみ。

電源	100V、120V、220V、240V (±10%) 50Hz ～ 60Hz および 400Hz (ライン周波数は起動時に自動的に検出)
最大 VA	50VA
動作高度	最高海拔 2,000m (6,562 フィート)
動作温度	0°C～ 50°C、35°Cでの相対湿度 80%
保管温度	-40°C～ 70°C
汚染度	2

はじめに

ケースレー製品をご愛用くださりありがとうございます。DAQ6510 型は 6½ 桁のグラフィック・サンプリング・データ・アキュイジション・システムで、高速デジタイズと大型グラフィック・タッチスクリーン・カラー・ディスプレイを提供します。この DAQ は、15 種類の測定機能を始めとするさまざまな測定機能を提供します。業界トップ・クラスの DC 確度に加えて、キャパシタンス、16 ビットの電流／電圧のデジタイズなど、豊富な機能を備えています。さらに、タッチスクリーン対応の大型カラー・ディスプレイ (5 型) による優れたデータ視覚化と操作性も備えているため、ユーザは測定結果をより詳細に解析することができます。

DAQ6510 型は、システム・アプリケーションや製造テストからベンチトップ・アプリケーションまで、さまざまなアプリケーションに必要とされる優れた測定精度とスピードを提供します。DAQ6510 型は、製造技術者、研究／開発エンジニア、テスト・エンジニア、科学者などが日々直面するアプリケーション要件にも対応できます。

このガイドは DAQ6510 をセットアップして使用するための簡単なステップを紹介します。

連絡先情報

本書に記載された情報に関して不明な点や疑問などがございましたら、最寄りのケースレーの支社または代理店までお問い合わせください。電話連絡先：Keithley Instruments 本社（アメリカおよびカナダからは無料電話）1-800-935-5595 またはアメリカ国外からは +1-440-248-0400。その他世界各国における連絡先は、jp.tek.com/keithley に記載されています。

はじめに

開梱と機器のチェック

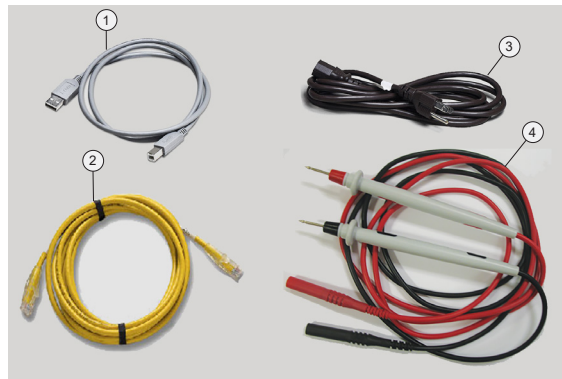
開梱と機器のチェックの手順：

1. 箱に損傷がないかチェックします。
2. 箱を開けます。
3. マニュアルとスタンダード・アクセサリが入っている袋を取り出します。
4. DAQ6510 型を箱から取り出します。
5. 添付文書を取り出します。
6. 機器に明らかな物理的損傷がないかをチェックします。損傷がある場合は、すぐに配送業者に連絡します。

DAQ6510 型には以下が同梱されています。

1. USB Type B ケーブル
2. クロス型ケーブル（TSP-Link/Ethernet 接続用）
3. 電源コード
4. 1757 スタンダード・テスト・リード・キット
5. ソフトウェア／マニュアル・ダウンロードに関するドキュメントと校正証明書（写真にはありません）

機器とともに配送された追加アイテムは、付属品一覧を参照してください。

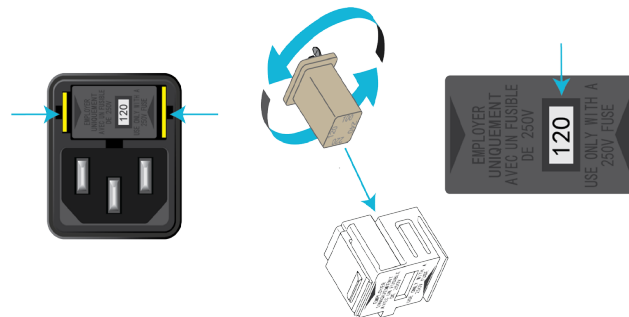


ヒューズ設定のチェック

ヒューズは出荷時に設定されます。機器背面の電源モジュールをチェックします。正しい電圧設定が表示されているはずです。

ヒューズの方向を変更するには、以下の手順に従います。

1. 電源が投入されていないことを確かめます。
2. 機器に接続されているすべてのテスト・リードを取り外します。
3. 電源ケーブルを取り外します。
4. ヒューズケースのツメを押して、電源モジュールからヒューズケースを取り外します。
5. ヒューズケースからヒューズを取り出します。
6. ヒューズが設置された際にヒューズケースに適切なヒューズの電圧が表示されるようにヒューズを回転させます。
7. ヒューズケースを電源モジュールに入れます。



はじめに

機器の接続

テスト・システムの安全に関する重要な情報

この製品は、スタンドアロン機器として販売されており、危険な電圧とエネルギー源を含む可能性のあるシステムの一部として使用される可能性があります。使用中にシステムが安全であり、適切に動作していることを確認するのは、テスト・システム設計エンジニア、インテグレータ、インストーラ、メンテナンス担当者、サービス担当者の責任です。

また、多くのテスト・システムにおいては、ソフトウェア・エラーのようなたった一つの障害が、システムが危険はないと表示しているにもかかわらず、危険な信号レベルを出力することがあります。

システム設計においては、以下の要因を考慮して使用することが重要となります。

- 国際安全基準 IEC 61010-1 は、乾燥した場所で使用される機器の定格を対象としており、電圧が $30V_{RMS}$ 、 $42.4V_{PEAK}$ 、または $60VDC$ を超えると危険であると定義されています。ケースレー製品の定格は乾燥した場所のみを対象としています。
- システム内のすべての機器の仕様を読み、準拠してください。全体的に許容される信号レベルは、システム内の最も低い定格の機器によって制約されることがあります。たとえば、 $500V$ の電源を $300VDC$ 定格スイッチで使用しているとすれば、システム内で許容される最大電圧は $300VDC$ になります。
- システムに接続されているテスト・フィクスチャのすべてについて、ユーザが危険な電圧、熱い表面、先の尖った物に触れないようにセットアップされていることを確認してください。遮蔽版、障壁、絶縁材、安全保護装置などを適宜お使いください。
- 被測定デバイス (DUT) を覆い、システムや DUT 障害が起きた場合に、ユーザが飛び散る破片などから保護されるようにしてください。
- ユーザが触れることのできる電氣的接続はすべて二重に絶縁してください。二重に絶縁することで、一つの絶縁材が破損しても、ユーザの安全は保たれます。特定の要件に関しては、IEC 61010-1 を参照してください。
- すべての接続部がロックされたキャビネットのドアまたはその他の障壁の後ろにあることを確認します。これは、誤って手で接続を取り外したり、危険電圧にさらされることからシステム オペレータを保護するためのものです。テスト・フィクスチャ・カバーが開いた場合は、信頼性の高い、フェイルセーフ付きのインターロック・スイッチを使用して、電源を遮断するようにしてください。

- 可能ならば、ユーザが DUT やその他の危険な可能性のある場所にアクセスすることを避けるため、自動ハンドラを使用してください。
- システムのすべてのユーザが潜在的な危険を理解し、怪我をしないように自身を守る方法を学べるようにトレーニングを行ってください。
- 多くのシステムで電源を入れる際にそうであるように、システムが完全に初期化されるまでは、出力が不明な状態であることがあります。この状態が設計上許容されており、かつオペレータが怪我をしたりハードウェアが損傷したりすることがないものであることを確認してください。

機器の設置

DAQ6510 型はベンチの上またはラック内で使用することができます。DAQ6510 型をラック内に設置する場合は、ラックマウント・キットに同梱の手順書を参照してください。

損傷の原因になるような熱の蓄積を防ぎ、仕様通りの性能を確保するために、機器周りに適切な通気と空気の循環が確保されており、きちんと冷却が行われていることを確認してください。機器の上部、両側、下部にある通気口を覆わないようにしてください。

電源ケーブルのような断路装置にすぐに届くことができるように、機器を設置してください。

DAQ6510 型の動作電圧は 100V ~ 240V、周波数は 50Hz、60Hz、または 400Hz です。ご使用の地域の電源電圧に対応していることをご確認ください。

定格精度を達成するには、DAQ6510 型をオンにして、少なくとも 30 分間ウォーム・アップする必要があります。機器は、電源から切断された状態（オンまたはオフ）を保ちます。

警告

DAQ6510 型に付属の電源ケーブルには、アース付きコンセントで使用するための保護接地（安全接地）線が付いています。適切に接続を行った場合には、電源ケーブルの接地線によって機器のシャーシが電源ケーブルのアース線に接続されます。保護接地線やアース付きコンセントが適切に使用されていないときに、障害が発生した場合には、感電事故が発生し、負傷または死亡につながる危険性があります。

主電源コードは取り外し可能ですが、定格外の不適切なコードに交換しないよう注意してください。定格が適切なコードを使用しないと、感電による傷害または死亡事故の原因となる可能性があります。

注意

機器を不適切な電源電圧で使用すると、機器が損傷する可能性があります（この場合、保証を受けられない可能性もあります）。

電源ケーブルを接続するには、以下の手順に従います。

1. 付属の電源ケーブルを後部パネルの AC ソケットに差し込みます。
2. 電源ケーブルをアース付きの電源コンセントに差し込みます。

DAQ6510 型をオンにするには、以下の手順に従います。

1. DAQ6510 型に接続している被測定デバイス (DUT) がある場合は切断します。

2. **POWER** スイッチを 2 秒間長押しして、機器をオンにします。**POWER** スイッチの隣のインジケータは、電源に接続されると、オフの状態だとオレンジ色に、オンの状態だと緑色を示します。

機器が起動すると、ステータス・バーが表示されます。電源が完全にオンになると、ホーム画面が表示されます。

DAQ6510 型をオフにするには、以下の手順に従います。

前面パネルの **POWER** スイッチを長押しして、機器をオフにします。



注

ユーザの安全を確保するために、システムを構成するそれぞれの機器に付属する安全に関する注意書きをすべて熟読し、それに従うようにしてください。

接続

ホーム画面を
表示する

HOME

メイン・メニュー
を表示する

MENU

アプリマネー
ジャーを開く

APPS

選択した項目のヘル
プテキストを開く

HELP

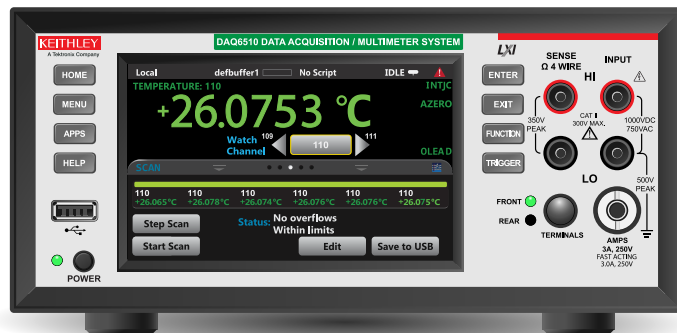
USB フラッシュ・
ドライブ・ポート



機器の電源をオン
またはオフにする



POWER



HI および LO
端子を感知する



HI および LO
端子を入力する



ENTER

ハイライト表示され
た選択肢を選ぶ

EXIT

前の画面に戻る

FUNCTION

内蔵機能を表示
する

TRIGGER

トリガ関係の設定や
操作にアクセスする



AMPS 3A, 250V



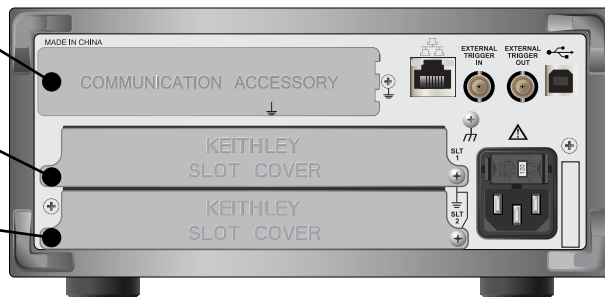
前部または後部の
端子を起動する

インタフェース・カード
(オプション)

モジュール・スロット
(オプション)

モジュール・スロット
(オプション)

イーサネット・ポート



トリガ端子



USB Type B ポート



ヒューズ・モジュール



電源モジュール

各部名称

試験用の接続

⚠ 警告

感電を防ぐためにもテスト接続は、テスト・リードや導体に触れているあらゆる被測定デバイス（DUT）に、ユーザが触れないように設定してください。機器の電源を入れる前に、DUT を機器から切断するのが賢明です。テスト・リードとの接触を防ぎ、安全な設置には適切な遮蔽版、障壁、接地が必要となります。

注意

1,000V_{ピーク}を超える電圧を INPUT 端子に、または 350V_{ピーク}を超える電圧を SENSE 端子にかけないでください。この注意に従わないと、機器が損傷する場合があります。

INPUT LO と AMPS 入力間には、500V_{ピーク}を超える電圧をかけないでください。この注意に従わないと、機器が損傷する場合があります。

以下の手順に従って接続します。

前面パネルの物理的接続部が次の図で示されています。前面端子または背面端子のどちらかを使用しなければいけません。この接続を混合して使用しないでください。前面パネルと背面パネルの接続部は安全バナナ・プラグです。



このガイドの例では、前面パネルに接続し、接続部を短絡させる方法を紹介します。

この例では、1757 スタンダード・テスト・リード・キットを使用し
て接続できます。

以下の手順に従って接続します。

1. 前面パネルの **POWER** スイッチがオフであることを確かめます。
2. 赤いリードを **INPUT HI** 接続に接続します。
3. 黒いリードを **INPUT LO** 接続に接続します。

測定動作の検証

次のステップで、機器が正しく動作していることを素早く検証すること
ができます。

測定動作を検証するには、以下の手順に従います。

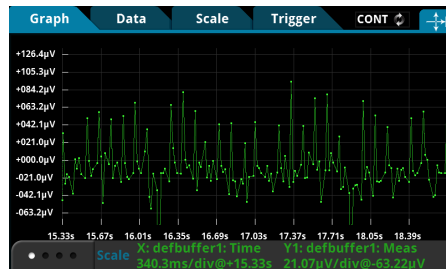
1. 機器の電源を入れます。
2. 前面パネルで **HOME** (ホーム) キーを押します。
3. Functions (機能) スワイプ画面で **DCV** を選択します。
4. 接続を短絡させます。

ホーム画面の DC VOLTAGE (DC 電圧) エリアに電圧測定が表
示され、これは 0V となっているはずです。

グラフ画面の測定を見るには、以下の手順に従います。

1. **MENU** (メニュー) キーを押します。
2. Views (表示) の下で、**Graph** (グラフ) を選択します。

Data and Scale (データとスケール) のタブのオプションを使用して、
グラフ設定を調整することができます。



テスト

FAQ

更新されたドライバはどこにありますか。

最新版のドライバと追加サポート情報は、ケースレーのサポート・ウェブサイトをご覧ください。

機器で利用可能なドライバを確認するには、以下の手順に従います。

1. 当社 Web サイト (jp.tek.com/keithley) を開きます。
2. **DOWNLOADS** を選択します。

どのモジュールを使用すればいいですか。

モジュール	説明
7700 型	20 チャンネル差動マルチプレクサ・モジュール
7701 型	32 チャンネル差動マルチプレクサ・モジュール
7702 型	40 チャンネル差動マルチプレクサ・モジュール
7703 型	32 チャンネル高速差動マルチプレクサ・モジュール

モジュール	説明
7705 型	40 チャンネル・シングルポール制御モジュール
7706 型	自動 CJC 付き 20 チャンネル差動マルチプレクサ、デジタル出力 x16、アナログ出力 x2、カウンタ／トータライザ
7707 型	10 チャンネル差動マルチプレクサ付き 32 チャンネル・デジタル I/O モジュール
7708 型	自動 CJC 付き 40 チャンネル差動マルチプレクサ・モジュール
7709 型	6 × 8 マトリックス・モジュール
7710 型	自動 CJC 付き 20 チャンネル・ソリッドステート差動マルチプレクサ
7711 型	2GHz の 50Ω RF モジュール
7712 型	3.5GHz の 50Ω RF モジュール

7700 型、7702 型、7708 型モジュールは、DAQ6510 型の電流測定機能を使用した電流測定をサポートする、2 つの追加チャンネルを備えています。通電仕様に関しては、スイッチ・モジュールのデータシートをご覧ください。

7705 型、7711 型、7712 型は信号スイッチングの機能のみを提供し、DAQ6510 型を使用して直接測定することはできません。スイッチング・アプリケーションにどの機器が適切かを決定するには、スイッチ・モジュールのデータシートをご覧ください。

初めての使用に最適なソフトウェアはありますか。

はい。DAQ6510 を初めて使用する人のために、**KickStart** と **テスト・スクリプト・ビルダ** が用意されています。

KickStart は機器をセットアップして、プログラム言語を使用せずにテストを実行することができるソフトウェア・プログラムです。

テスト・スクリプト・ビルダ (TSB) は、テスト・スクリプト・プロセッサ (TSP®) ・スクリプト・エンジンを使用している場合に、テスト・スクリプトの作成を簡略化するソフトウェア・ツールです。

どちらのソフトウェアも jp.tek.com/keithley からダウンロードすることができます。

FAQ および次のステップ

ファームウェアはどうやってアップグレードすればいいですか。

アップグレード用のファイルは jp.tek.com/keithley からダウンロードしていただけます。

前面パネルを使用して、

1. ファームウェア・ファイル（.upg ファイル）を USB フラッシュ・ドライブにコピーします。
2. ファームウェア・ファイルがフラッシュ・ドライブのルート・サブディレクトリに存在し、その場所にある唯一のファームウェア・ファイルであることを確認します。
3. 機器に接続されている端子をすべて取り外します。
4. 機器の電源をオフにします。数秒間時間をおきます。
5. 機器の電源をオンにします。
6. フラッシュ・ドライブを機器の前面パネルにある USB ポートに挿入します。
7. 機器の前面パネルで **MENU**（メニュー）キーを押します。
8. System（システム）で **Info/Manage**（情報／管理）を選択します。

注意

アップグレードのプロセスが完了するまで、電源を切ったり、USB フラッシュ・ドライブを抜いたりしないでください。

注

ファームウェア・ファイルがフラッシュ・ドライブのルート・サブディレクトリに存在し、その場所にある唯一のファームウェア・ファイルである必要があります。ファームウェアのアップグレードやダウングレードは、前面パネルまたは仮想前面パネルから行うことができます。

9. アップグレードのオプションを選択します。
 - 新しいバージョンのファームウェアにアップグレードする場合は、**Upgrade to New**（新しいバージョンにアップグレード）を選択します。
 - 以前のバージョンのファームウェアに戻す場合は、**Downgrade to Older**（古いバージョンにダウングレード）を選択します。
10. 機器をリモート制御している場合は、メッセージが表示されます。Yes（はい）をクリックして継続します。
11. アップグレードが完了したら、機器を再起動します。アップグレードが進行する間、メッセージが表示されます。

コマンド・セットはどうやって変更すればいいですか。

DAQ6510 型で使用するコマンド・セットを変更することができます。
以下のリモート・コマンド・セットが使用可能です。

- SCPI：SCPI 規格で作成された機器固有の言語
- TSP：スタンドアロン機器から実行することができる機器固有の制御コマンドを含むスクリプト・プログラミング言語です。TSP を使用して個々のコマンドを送信したり、コマンドをスクリプトに組み合わせることができます。
- SCPI2700：ケースレーの 2700 シリーズ用に開発されたコードを実行することができる機器固有の言語です。
- SCPI2701：ケースレーの 2701 型用に開発されたコードを実行することができる機器固有の言語です。

コマンド・セットを組み合わせ使用することはできません。

前面パネルからコマンド・セットを設定するには…

1. **MENU** (メニュー) キーを押します。
2. System (システム) で **Settings** (設定) を選択します。
3. **command set** (コマンド・セット) を選択します。
4. 指示に従って機器を再起動します。

注

ケースレーの DAQ6510 型は、SCPI コマンド・セットにも対応しています。

FAQ および次のステップ

DAQ6510 型が USB フラッシュ・ドライブを読み込めないのですが…。

フラッシュ・ドライブが FAT ファイル・システムでフォーマットされているかどうかをご確認ください。DAQ6510 型は FAT ドライブのみに対応しています。

Microsoft® Windows® で、USB フラッシュ・ドライブのプロパティをチェックすることで、ファイル・システムを確認することができます。

機器の現在の状況はどうすれば保存できますか。

機器の設定は、前面パネル・メニューを使用して、またはリモート・インタフェースからスクリプトとして保存することができます。保存後に、スクリプトの呼び出しや USB フラッシュ・ドライブへのコピーを行うことができます。

前面パネルを使用して、

1. 保存したい設定を DAQ6510 型に構成します。
2. **MENU** (メニュー) キーを押します。
3. Script (スクリプト) で Save Setup (設定を保存) を選択します。
4. **Create** (作成) を選択します。
5. キーボードを使用してスクリプトの名前を入力します。
6. 表示されたキーボードの **OK** ボタンを選択します。これでスクリプトは内部メモリに追加されました。

設定が変わったのはなぜですか。

DAQ6510 型のコマンドの多くは、設定されたときにアクティブであった測定機能とともに保存されます。たとえば、測定機能が電流に設定されており、桁表示にある値を設定したとします。測定機能を電圧に変更すると、表示される桁は電圧測定機能に最後に設定された値に変更されます。電流測定機能に戻ると、桁表示は以前設定した値に戻ります。

次のステップ

このマニュアルには、アプリケーションに新しいDAQ6510型データ・アキュイジション／マルチメータ・システムを初めて使用するために必要な必用最小限の情報が記載されています。さらに詳細な情報が必要な場合は、『DAQ6510型リファレンス・マニュアル』をご覧ください。

また、機器に関するサポートと追加情報は、jp.tek.com/keithley をご覧ください。ウェブサイトでは、以下の情報にアクセスすることができます。

- 低レベル信号測定のハンドブック：高精度 DC 電流、電圧、抵抗の測定
- スイッチング・ハンドブック：自動テスト・システムにおける信号スイッチングのガイド
- アプリケーション・メモ
- 更新済みドライバ
- 関連する製品に関する情報

製品の選択、コンフィグレーション、使用方法に関しては、お近くのフィールド・アプリケーション・エンジニアがお手伝いいたします。お問い合わせ情報はウェブサイトをご覧ください。

FAQ および次のステップ

お問い合わせ先：

イタリア 00800 2255 4835

インド 000 800 650 1835

インドネシア 007 803 601 5249

オーストラリア* 1 800 709 465

オーストリア 00800 2255 4835

オランダ* 00800 2255 4835

カナダ 1 800 833 9200

シンガポール 800 6011 473

スイス* 00800 2255 4835

スウェーデン* 00800 2255 4835

スペイン* 00800 2255 4835

タイ 1 800 011 931

デンマーク +45 80 88 1401

ドイツ* 00800 2255 4835

ニュージーランド 0800 800 238

ノルウェー 800 16098

バルカン半島諸国、イスラエル、南アフリカ、
およびその他の ISE 諸国 +41 52 675 3777

フィリピン 1 800 1601 0077

フィンランド +41 52 675 3777

フランス* 00800 2255 4835

ブラジル +55 (11) 3759 7627

ベトナム 12060128

ベルギー* 00800 2255 4835

ポーランド +41 52 675 3777

ポルトガル 80 08 12370

マレーシア 1 800 22 55835

メキシコ、中南米およびカリブ海域
52 (55) 56 04 50 90

ルクセンブルグ +41 52 675 3777

ロシアおよび CIS 諸国 +7 (495) 6647564

英国／アイルランド* 00800 2255 4835

韓国 +82 2 565 1455

香港 400 820 5835

台湾 886 (2) 2656 6688

中央ヨーロッパ／ギリシャ +41 52 675 3777

中華人民共和国 400 820 5835

中東、アジア、および北アフリカ
+41 52 675 3777

中東諸国／バルト諸国 +41 52 675 3777

南アフリカ +41 52 675 3777

日本 81 (3) 6714 3010

米国 1 800 833 9200

* 欧州のフリーダイヤル番号。つながらない場合は次の番号におかけください：
+41 52 675 3777

その他のリソースについては当社Webサイト (TEK.COM) をご覧ください。

Copyright © 2019, Tektronix. All rights reserved. テクトロニクス製品は、登録済および出願中の米国その他の国の特許等により保護されています。本書の内容は、既に発行されている他の資料の内容に代わるものです。また、本製品の仕様および価格は、予告なく変更させていただく場合がございますので、予めご了承ください。TEKTRONIX および TEK は Tektronix, Inc. の登録商標です。他の商品名全ては、各企業の標章および商標、登録商標です。



DAQ6510-903-02B / August 2019

